

話 閑 生 書 月 報

monthly newsletter shosei kanwa 第七号 本郷版 2018.1

年終わりの活況と、
大晦日の寂寞と。



二〇一七年もあつという間に過ぎ去って行きました。本郷が地元の方ももちろんこの街で平和に年を越されていると思いますが、一方で学校に通っていて本郷に一人暮らししている学生というのはみんな、だいたい大晦日までに地元へ帰省してしまうので、私の下宿はいつも年末非常に淋しくなります。

そんなわけで、毎年忘れてはならないのが忘年会。大晦日に帰省する人が多いのを踏まえ、一日前の二月三〇日に下宿の中で大忘年会をやっています。たくさんの方が狭い六畳一間に集い、食べて、飲んで、二〇一七年を語らう日。実は私事ではございますが、たまたまその部屋の家主の誕生日がまさにこの日として、「クリスマス」「誕生祝い」「忘年会」「一足早い新年会」が全部ごちゃ混ぜになったような様相を呈しております。みんな酒を持ち寄り、飲んだり飲まれたり。賑やかな年の終わりもなかなか良いものです。

しかしそうになると、翌日の大晦日、打って変わった寂寞におそわれることに。みんないなくなり、一人取り残されることになるのです。大晦日は心なしか本郷の街全体が静かになったよう。年越し前の夜、人がいない春日通りを歩くと、寒さが人一倍堪えます。結局私も、夜に地元へ帰り年を越したのです。皆様、あけましておめでとございます。(三)

書生生活の一年の活動をお伝えする報告会を二〇一八年二月一八日に鳳明館本館で行います。詳細はHdやfacebookでお伝えします。
<http://shosei.tokyo>

本郷の街は書生生活を応援しています。一緒に書生を応援してください。大家さん・不動産屋さんなどを大募集。ご連絡は左記よりどうぞ。

mating-hongo@nifty.com

書生のまち活動日誌

「書生生活報告会、2月18日開催です。」

とき 2月18日 14:00～16:00
13:30 開場 終了予定

ところ 鳳明館本館 大広間
東京都文京区本郷5-10-5

参加方法 下記メールアドレス、電話、FAX whichever にて、「氏名」「ご連絡先」と「書生生活報告会参加」とお知らせ下さい。

MAIL: mating-hongo@nifty.com
TEL: 03-5844-6871 電話対応時間: 火・木・土 10:30～18:30
FAX: 03-5844-6875

入場無料

学生が本郷の空き家に入り、地域に関わりながら暮らす「書生生活」。例年、年度末に報告会を開催していますが、今年も開催いたします。今年の報告会は、卒業する書生が書生として本郷で過ごした日々を振り返るだけでなく、新しく入る書生にも自己紹介してもらいます。また、ゲストスピーカーとして東京大学都市工学専攻の大学院生による「本郷のまちづくり」演習の発表をしてもらう予定です。

ご来場いただく方にも、書生生活をはじめ、本郷と学生の関係の未来とを一緒に話していければと思います。ご参加は無料です。ふるってご参加ください。③

年度末を控え、本郷に暮らしている書生は皆、卒業し「学位」をとるための作業に追われています。大学を卒業するときの卒業論文、あるいは卒業設計、修士課程を出るときは修士論文。種類は色々ありますが、総じて締め切りが迫られ、計画したスケジュールからは遅れ、だんだんと血走った眼の学生が増えてくる季節となりました。

はてさて、明治・大正期の書生は、どのように学位を獲得していたのでしょうか。東京大学に学位制度が導入されたのは一八七九年（明治十二年）のことだそうで、学部名を冠した「学士」という学位が卒業と同時に授与されることになりました。

しかし、四年後の一八八三年になると、「得業士」制度が始まります。これ、卒業する学生に全員は「得業士」という学位を与えるが、本来の「学士」が欲しい場合はさらに「学士」

「試問規則」に則った卒業後の試験を受け、学力が非常に高いことを示す必要があるという非常に厳しい制度。そう、卒業するだけじゃ「学士」がもらえなくなってしまうのです。理由は、ただ大学を卒業する者全員に「学士」を授与していると「幾分か学士の品等を」下げ「社会の信用を薄からしむる」から。ひい、厳しいですね。

これに対して学生側は猛反発。翌年、一万二千字に渡る懇願書を大学に提出しています。その後の具体的な経緯は不明ですが、一八八七年の学位令で「得業士」は廃止。大学を出たら「学士」がもらえる、という今に至る制度ができることになりました。

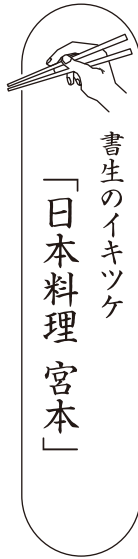
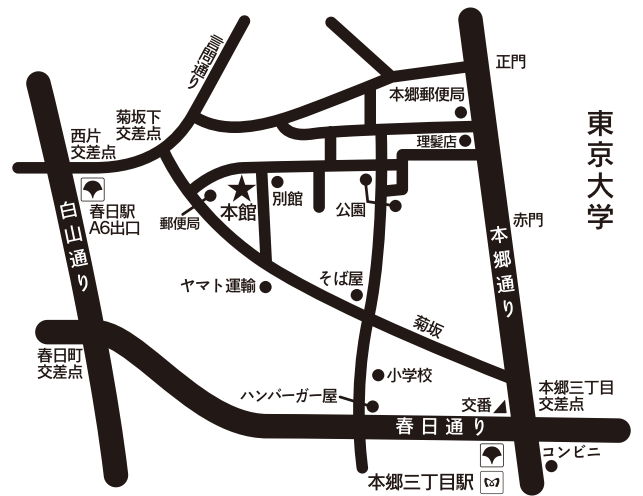
「学士」をはじめとする学位というのは、今みたいに甘っちょろくない時代に先人の勝ち得てきた大事な称号だったわけですね。学生諸君、愚痴ってないで頑張りましょうぜ。

参照:「帝国大学体制形成期における学位制度の成立に関する考察」中野実 ③

戦う「学士」号。

書生コラム

会場地図 鳳明館本館大広間 (文京区本郷5-10-5)



書生のイキツケ 「日本料理 宮本」

心地よい寝覚めと共に時計を確認する。一時。しまった、大寝坊だ。まあいい、こんな日はさっとシャワーを浴び、登校前の和食ランチで心を落ち着けよう——

こちらのお店では、魚系を中心に一〇種ほどの定食を提供している。中でも私のお気に入りなのはなめろうフライ定食。例えるならお魚版メンチカツといったところか。ソースではなく醤油が合う珍しいこのフライと一緒につやつやの白米を頬張れば、寝坊の罪悪感などたちまちに忘れ去る。

夜はつまみながらのしつぽり酒や飲み放題付きの宴会にも対応する。おすすめは宴会

のぞきみ・書生生活

FILE 7: 無名の強者



みのる荘七号室。ゆったり泳ぐ一匹の琉金のおかげで生活が明るい。昨年の同四会夏祭りでは、拘われた彼には他に和金の四匹の同期がいたが、昨年度の書生の名をそれぞれに与えたとところ次々と急死。唯一名をつけていない琉金だけが生き残った。長生きしてほしいとの願いから、今日も無名のまま水中を漂っている。私の享受する恩恵とは裏腹に、どこか寂しげなのは気のせいだろうか。④



日本料理 宮本
住所: 文京区本郷 6-17-9
営業時間:
月～金 11:30-14:00
17:30-22:30
土日祝定休